

スケジュール

情報処理演習 (13) 総まとめ

知能システム学 准教授
万 偉偉(ワン ウェイウェイ)

- 今日 総まとめ
- 2月24日 最終課題を配る

復習

- 変数の種類 char, int, float, double
- 進数、ビット、バイト
- printf関数 %d, %f, %c, %s, %x
– %表示桁数.小数点以下の桁数f
- scanf関数 %d, %lf, &
- 四則演算 +, -, *, /, %
- 数学関数 #include <math.h>
- マクロ定義 大文字 #define PI 3.14

復習

- 繰り返し
- for
– for(初期化;繰り返しの条件;繰り返すたびに実行するもの)
- break即座に抜ける, continue次の処理へ進める, switch-case
- 計算の省略形 i++, i+=1
- i++と++iの違い

復習

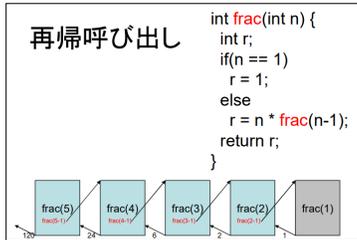
- 条件分岐
- 比較演算子 ==, >=, <=, !=
- ブロック {}
- かつ、または &&, ||
- インデントと括弧でプログラムを綺麗にする

復習

- 繰り返し
- for
– for(初期化;繰り返しの条件;繰り返すたびに実行するもの)
- break即座に抜ける, continue次の処理へ進める, switch-case
- 計算の省略形 i++, i+=1
- i++と++iの違い

復習

- 関数
 - プロトタイプの宣言
 - 戻り値 関数名(引数1, 引数2, ...)
- 標準ライブラリの関数stdio.h, math.h
- 再帰呼び出し



復習

- 文字列
 - 文字: アスキーコード
 - 文字の配列 文字を並べたもの
 - 文字列 文字を並べたもの+ターミネータ
- getchar()
- cast 型を明示的に変換する
- 文字列操作する関数
 - strcat, strcmp, strncmp, ...

復習

- 配列を引数に取る関数
 - 配列を受け取る関数であることを宣言
 - 関数の定義に要素数を指定する必要はない
 - 呼び出し側では、配列の名前のみ(添え字なし)
- const修飾子
- 二次元配列の引数渡し
 - 少なくとも二番名の引数の個数を指定すべき

復習

- 配列
 - 同じ型のデータを並べたもの
 - データ型名 配列名[配列の要素数]
 - どんな型も良い、要素数は固定
 - 参照
 - 配列名[要素番号], 番号は0から
 - 二次元、三次元も可能
- 配列の初期化

復習

- 制御文字 CR, LF, EOFなど

```
getchar()プログラムの入力

int mygetline(char s[], int size) {
    int c, i;
    for ( i = 0; (c = getchar()) != EOF &&
           c != '\n' && i < size - 1; i++) {
        s[i] = c;
    }
    s[i] = '\0';
    if ( c == EOF && i == 0 ) {
        return -1;
    }
    return i;
}
```

```
for(i=0; i<size-1; i++) {
    c = getchar();
    if(c==EOF or c=='\n') {
        break;
    }
    s[i] = c;
}
```

復習

- メモリについて
 - メモリは複数のプログラムに共有されている
 - 1つのプログラムに必要なメモリを確保しないといけない
 - コードに従って、メモリのサイズを分かるはずですが
 - この授業の範囲外の話
 - サイズがわからない場合
 - 動的割り当てになる (この授業であれば、適当に多めに用意しても構いません)
 - OSから動的割り当てのため一部のメモリを特別用意している→ヒープメモリ

復習

- ・ ポインタ
- ・ 変数の位置は割られた単元のアドレス
 - データ型 *変数名;
- ・ この位置は以下の特徴を持っている。
 - 値の範囲は有効のアドレス.
 - データ型は割られた単元のサイズを示す.
- ・ ポインタの演算
- ・ C言語配列の謎、2重ポインタ

復習

- ・ テキストファイル入出力
- ・ FILE型変数 本質（来年の内容となり）
- ・ FILE *fp_in=fopen("sample_data.txt","r");
- ・ FILE *fp_out=fopen(str,"w");
- ・ fscanf, fprintfの活用
- ・ 特に、書き出しのオプションについては書き出す“w”以外にも、既存のファイルの最後に追加して書き出す“a”を使用することもできる.

終わりに

- ・ これから、いろいろ言語を勉強したり、使ったりするかもしれませんが、C・C++言語必ず使われる。早くなれるのは専門として大事なこと
 - どのコースでも一緒
 - 一年生の段階で早めに授業を受けること
- ・ 言語の勉強について暗記ではなく、実践が重要→座学の代わりに演習
- ・ 一年生の内容は足りない気がしている方、ぜひ聞いてください。（OSを作りたい、コンパイラを作りたい）
- ・ 語法以外、言語に依存しないプログラミングの思想が重要→既存のパソコンアーキテクチャへ適用するアルゴリズムの考え方→知能システムコース二年のコンピュータ基礎（データ構造とアルゴリズム）